

## 弘前大学白菊会の皆様へ

当講座では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方もしくはその代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	人体の静脈穿刺部位における皮静脈の走行とその周囲組織との関係について			
2. 対象となるご献体	献体登録に基づき、弘前大学白菊会に入会され、献体していただいたご遺体を使用させていただきます。本研究の目的を遂行するために四肢や頭頸部において、発達障害や重篤な外科疾患の既往ならびに外科的手術の既往歴がないご遺体を対象といたします。			
3. ご献体いただいた期間	平成28年 4月 1日    ~    平成34年 3月 31日			
4. 研究を実施する講座	生体構造医科学講座			
5. 研究責任者	氏名	成田 大一	所属	生体構造医科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	青森中央学院大学(三國 裕子 准教授) 弘前学院大学(千葉 正司 客員教授)			
7. 研究の意義	<p>静脈穿刺は、静脈内注射や採血など臨床において実施頻度の高い医療行為です。しかし、神経や動脈への誤穿刺などの医療事故やトラブルの報告が後を絶ちません。より安全な静脈穿刺部位の選定のためには穿刺部位の皮静脈のみならず、その周囲の皮神経や動脈の走行、筋肉を含めた局所解剖学的な根拠が必要です。</p> <p>そこで本研究では、四肢や体幹における皮静脈の走行とその周囲の神経や動脈、筋、筋膜の走行や構造ならびに静脈弁の出現部位について総合的に調査し、安全な静脈穿刺部位を選定することを目的とします。これにより誤穿刺などの医療事故の予防につながるとともに穿刺におけるリスクを明確にでき、医学・医療技術の発展へ貢献すると考えられます。</p>			
8. 研究の目的	本研究は、ヒトのご遺体を用いて皮下を走行する動・静脈、神経ならびにその周囲の筋、筋膜といった構造を総合的に調査することで、これらの分布や解剖学的特徴を明らかにし、安全な静脈穿刺部位を選定することを目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	<p>ご遺体の解剖は弘前大学解剖学実習室内で実施いたします。</p> <p>1)四肢や体幹における皮静脈、神経、動脈ならびに周囲の筋膜や筋を剖出し、肉眼解剖学的データを採集(線描画、カメラ撮影)します。</p> <p>2)皮静脈を切開して静脈弁を剖出し、出現部位や個数、形態を記録します。</p> <p>採取したデータは個人を特定できる情報を削除したうえで青森中央学院大学(三國裕子 准教授)ならびに弘前学院大学(千葉正司 客員教授)に提供し、皮静脈とその周囲の局所解剖的所見を分析し、皮神経、動脈、静脈弁と重複する頻度の低い皮静脈の部位を明らかにし、安全な静脈穿刺部位を選定します。</p>			
10. 個人情報の保護	課題経過中及び終了後において、調査結果については、研究目的以外に使用することはないと、対象者の個人情報を外部に漏らすことはありません。本研究で得られた個人情報は、データの統計的分析にのみ使用され、学会発表においても個人を特定できる情報を削除し発表いたします。			
11. 利益相反に関する状況	本研究に関する利益相反はありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 生体構造医科学講座 成田 大一			
	電話	0172-39-5005	FAX	0172-39-5006